JARI シンポジウム 2026

オールジャパンで取り組むマルチパスウェイ

ーカーボンニュートラルに向けたモビリティ技術の将来ー

カーボンニュートラルの実現には、EV、内燃機関、水素、e-fuel などの多様な技術と、エネルギーシステムとの連携が不可欠です。本シンポジウムでは、自動車・エネルギー分野、行政、大学・研究機関の有識者とジャーナリストが、持続可能なモビリティ社会の実現に向け、日本が取り組むべき将来像を議論します。

11月30日［月］

10：00～16：00

大手町三井ホール

参加費 **無料**

定員 **400名**

特別講演

【 道路交通部門のエネルギートランジション展望 】



公益財団法人
地球環境産業技術研究機構
システム研究グループリーダー・主席研究員
秋元　圭吾氏

基調講演

【 CN に向けた自動車の燃料・エネルギーの選択肢に関する展望 】



早稲田大学
名誉教授（次世代自動車研究機構）
大聖　泰弘氏

【 自動車産業の現状と政策対応の方向性 】



経済産業省
製造産業局 自動車課 自動車戦略企画室長
羽原　健雄氏

パネルディスカッション

モデレータ：味村　寛（JARI）

【 ジャパンモビリティ産業がマルチパスウェイで世界に貢献する為に 】



トヨタ自動車
株式会社
牟田 浩一郎氏



日産自動車
株式会社
池原 賢亮氏



株式会社
本田技術研究所
山田 卓也氏



ENEOS
株式会社
菅野 秀昭氏



日本自動車
ジャーナリスト
岡崎 五朗氏

お申込みはこちら▼

主催：一般財団法人日本自動車研究所
後援：公益社団法人自動車技術会
　　一般社団法人日本自動車工業会

お問い合わせ先
JARI シンポジウム事務局
TEL：029-856-1128　e-mail：sogomado@jari.or.jp

JARI シンポジウム 2026

オールジャパンで取り組むマルチパスウェイ

ーカーボンニュートラルに向けたモビリティ技術の将来ー

講演プログラム

※プログラム・講演タイトルは変更となる場合があります。

10:00-10:10 開会挨拶　一般財団法人日本自動車研究所 代表理事 研究所長　鎌田 実

10:10-10:50 基調講演

CN に向けた自動車の燃料・エネルギーの選択肢に関する展望

早稲田大学
名誉教授（次世代自動車研究機構）
大聖 泰弘 氏

自動車分野では、CN とエネルギー安全保障の観点から、化石燃料の依存を抑え、各種の電動化に加えて、バイオ燃料や水素、合成燃料への転換が求められている。それらの特徴や課題、将来の解決に向けた可能性について論じる。

10:50-11:10 基調講演

自動車産業の現状と政策対応の方向性

経済産業省
製造産業局 自動車課 自動車戦略企画室長
羽原 健雄 氏

自動車産業を取り巻く国内外の環境が大きく変化する中、我が国自動車産業の現状等を概観するとともに、競争力の維持・強化に向けた政策対応の方向性について紹介する。

11:10-11:50 特別講演

道路交通部門の
エネルギートランジション展望

公益財団法人地球環境産業技術研究機構
システム研究グループリーダー・主席研究員
秋元 圭吾 氏

気候変動対策の強化が必要だが、世界の対応は斑模様化してきている。道路交通部門においても電動化の推進は必須であるが、多様な需要に対して、時間軸を意識した対策が必須である。世界を対象としたシステム的なモデル分析を通して、多様な燃料、多様なパワートレインによる対策の必要性を議論する。

11:50-12:50 昼食・休憩

12:50-13:00 JARI
EVS40 & EVTeC2027 日本開催がつなぐ未来
～多様なモビリティが活躍する社会へ、マルチパスウェイを通じて～
一般財団法人日本自動車研究所 黒田 英二

13:00-13:30 JARI
日本自動車研究所
環境研究部のマルチパスウェイ取り組み
一般財団法人日本自動車研究所 伊藤 晃佳

13:30-13:45 話題提供
トヨタ自動車におけるカーボンニュートラルに向けたパワートレーンの取組み
トヨタ自動車株式会社 牟田 浩一郎 氏

13:45-14:00 話題提供
電動化とエネルギーマネジメントが支えるカーボンニュートラル社会
日産自動車株式会社 池原 賢亮 氏

14:00-14:15 話題提供
カーボンニュートラル実現に向けた技術研究の取組み
株式会社本田技術研究所 山田 卓也 氏

14:15-14:30 話題提供
マルチパスウェイ実現に向けた悪戦苦闘
－燃料業界の挑戦
ENEOS 株式会社 菅野 秀昭 氏

14:30-14:45 休憩

14:45-15:55 パネルディスカッション「ジャパンモビリティ産業がマルチパスウェイで世界に貢献する為に」

電動化、内燃機関、CN 燃料、水素など、多様な選択肢をどのように組み合わせ、日本のモビリティ産業の強みを世界への貢献につなげていくのか。自動車メーカー、エネルギー企業、研究機関、ジャーナリストの視点から議論する。

パネリスト


トヨタ自動車
株式会社
牟田 浩一郎氏


日産自動車
株式会社
池原 賢亮氏


株式会社
本田技術研究所
山田 卓也氏


ENEOS
株式会社
菅野 秀昭氏


日本自動車
ジャーナリスト
岡崎 五朗氏

モデレーター


日本自動車研究所
執行理事
味村 寛

15:55-16:00 閉会挨拶　一般財団法人日本自動車研究所 代表理事 専務理事　一色 良太